

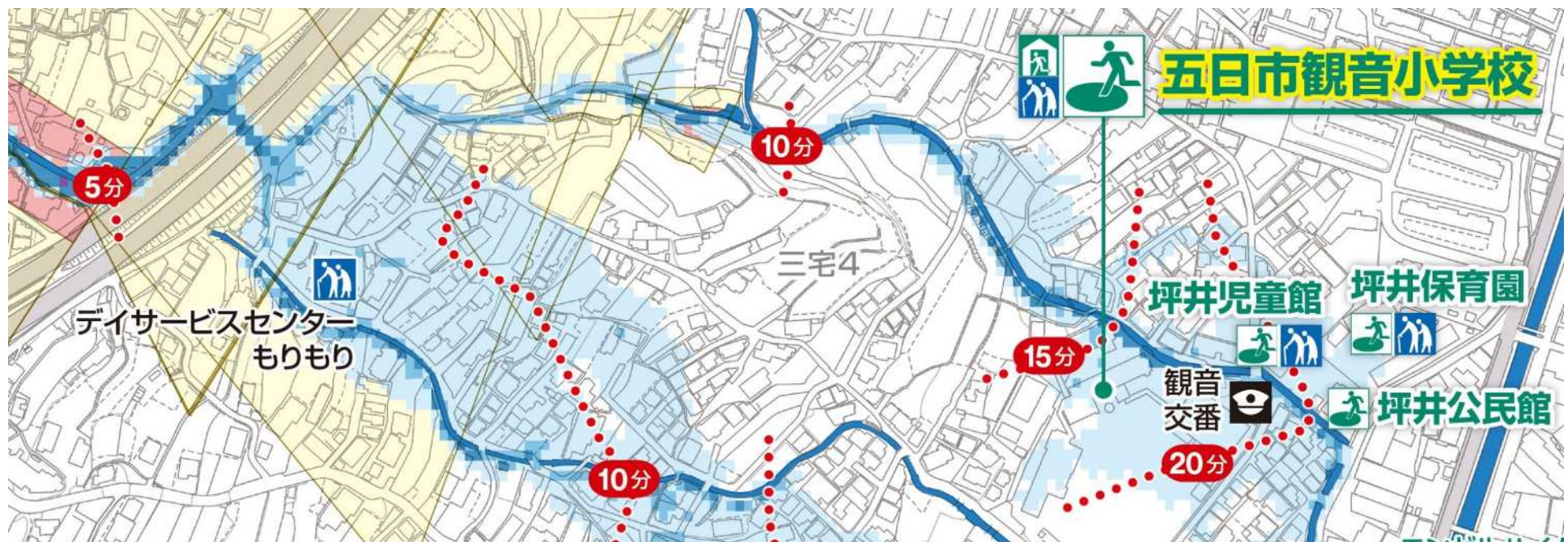
2. 災害から身を守るポイント

災害から身を守るために

- 災害から身を守るためには、私たち一人ひとりが災害に対して、日頃から備えておくことが重要です。
- ここでは、**災害から身を守るために最低限知っておくべきポイント**を紹介します。
- ハザードマップには、これらの情報をわかりやすく記載していますのでご家庭や地域での避難行動の資料として活用頂けることを望みます。

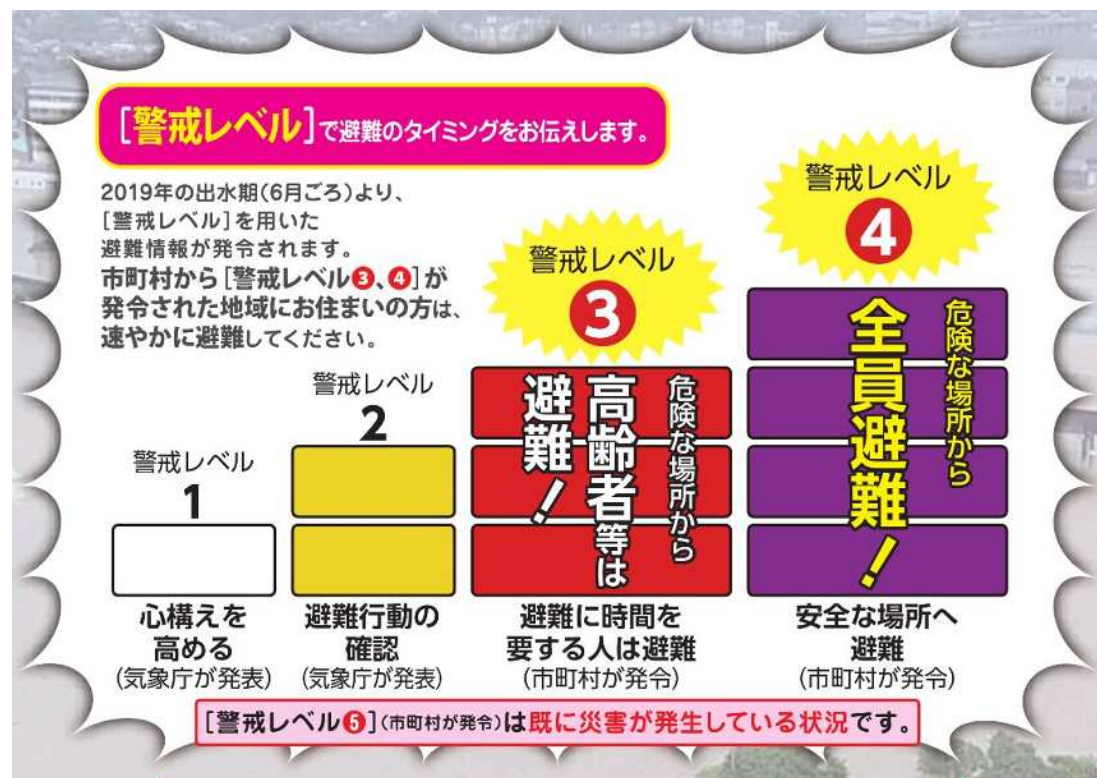


- 自分が住んでいる地域に、どのような災害の危険があるか、危険な区域や場所はどこか、普段から確認しておくことが大切です。
- ハザードマップには、ため池が決壊した場合に想定される浸水範囲、浸水深、到達時間が掲載されています。



土砂災害等では、警戒レベルで避難情報が発表されます。
これらを参考にしてください。（ため池専用の情報はありません）

- 危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。



最新の防災情報を入手しましょう

- 広島市では、災害時における防災情報をさまざまな形で配信しています。災害時に少しでも多くの行政情報を受け取れるよう、事前に確認しておきましょう。



広島市防災ポータル

避難勧告の発令状況、避難場所の開設状況等を確認できます。

<http://www.bousai.city.hiroshima.lg.jp/>



広島市防災情報メール

下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

entry@k-bousai.city.hiroshima.jp



令和2年度
出水期より
運用開始

広島市避難誘導アプリ 「避難所へGo！」

災害が発生する前に適切な避難行動を行っていただくための防災アプリです。

避難勧告等の発令時、開設中の最寄りの避難所へのルート案内を行います。

通常モード



非常モード



避難情報の発令にあわせたモード変更
⇒①GPS機能による位置確認
②最も近い開設している避難所へのルート案内

最寄りの避難所
までのルート表示



※その他の機能
・ルート再検索
(自動・手動)
・経由地設定

「立退き避難」が基本！

- 被害が発生する前に、浸水想定区域の外にある指定緊急避難場所などの安全な場所に避難する。



逃げ遅れた場合には「屋内安全確保」を！

※自宅の周辺がすでに増水していたり、
夜間で視界が悪く、屋外に出るとさらに危険な場合。

- 近くの丈夫な建物（鉄筋コンクリート造）
- 自宅（2階以上、山から離れた部屋）

